

VR 認知症プロジェクト アンケート集計  
報告書

社会福祉法人 とやま虹の会

開催日時 2019年4月14日(日) 10:30から12:00

開催場所 社会福祉法人とやま虹の会 しらいわ苑デイサービスセンターにて  
〒939-3535 富山市水橋新堀1 TEL 076-479-2082

講師 株式会社シルバーウッド VR事業部  
堀江加代子 様

参加人数 60名

内訳	社会福祉法人とやま虹の会	21名
	その他 21法人・団体	39名

# 富山で初開催！！

NHK「おはよう日本」  
テレビ東京「カンブリア宮殿」  
で紹介されました！

## VR認知症プロジェクト ～認知症を”体験”する～

日時：2019年4月14日（日） 10:30～12:00

場所：社会福祉法人とやま虹の会

地域交流スペース 喫茶

〒939-3535 富山市水橋新堀1

一般 3,000円  
学生 無料

### 目的

- ①VR認知症体験を通して、参加者自身が当事者意識を持ち、「自分がどうあるべきか」を考え、行動していくきっかけを作る。
- ②認知症への偏見をなくし、認知症になっても住み慣れた地域で幸せに暮らすことができる社会を作る一員となる

### VR体験

- ①私をどうするのですか？
- ②ここはどこですか？
- ③レビー小体病 幻視編



### 体験者の声（引用：シルバーウッド様HP）

- 今まで受けてきた講義とは全く違う理解の仕方で驚いた。VR体験の力に大変驚かされた。（認知症認定看護師）
- 認知症の方の気持ちを理解し寄り添いたいとずっと思って来たがなかなかできなくて苦しんでいた。体験を通じてこれから自分がどうしていけばいいのかやっとわかった気がして涙が出た。（介護職）

主催：社会福祉法人とやま虹の会 介護老人保健施設レインボー 特別養護老人ホームしらいわ苑  
協賛：NDソフトウェア(株) 担当：石坂 076-479-2082

認知症VR研修参加申込券

FAX 076-479-2078

事業所	氏名
TEL	メールアドレス

テーマ：VR 認知症体験会

目的：

- ① VR 認知症体験を通して参加者自身が当事者意識を持ち、「自分自身がどうあるべきか」を考え、行動していくきっかけを作る。
- ② 認知症への偏見をなくし、認知症になっても住み慣れた地域で幸せに暮らすことができる社会を作る一員となる。

目標：

- ① VR 認知症体験を通して認知症を認知症のある人の視点で考えることができる。
- ② 認知症について新たな視点で考えることで、現状の社会課題を具体的に認識することができる。
- ③ 認知症になっても幸せに暮らせる社会にするために、参加者自身がどのように行動するべきかを言語化することができる。

所要時間：1 時間 30 分

機材・教材： PC、プロジェクター、マイク、VR 機器

指導項目	時間	展開	学習者活動	備考
導入	10 分	<ol style="list-style-type: none"> <li>① グループで自己紹介を行う。</li> <li>② 「認知症の人」に対して自分が今持っているイメージを書いてもらう。認知症体験後に振り返ってもらうことを伝える。</li> <li>③ VR 認知症プロジェクトの簡単な説明</li> </ol>	認知症に対するイメージをワークシートに書き出す	
体験①	15 分	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 1 話目（視空間失認）の VR を見ってもらう。</li> <li>② 体験後、思いや感情を書いてもらう。</li> <li>③ ストーリー解説</li> </ol>	VR 体験、体験后感想書く	
体験②	15 分	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 2 話目（見当識障害）の VR を見ってもらう。</li> <li>② 体験後、思いや感情を書いてもらう。</li> <li>③ ストーリー解説</li> </ol>	VR 体験、体験后感想書く	
想いの共有	10 分	VR 認知症プロジェクトの想いの共有		
展開 3 体験③	20 分	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 3 話目（レビー小体型認知症）の VR 見ってもらう</li> <li>② 体験後の思いや感情を書いてもらう。</li> <li>③ ストーリー解説</li> </ol>	VR 体験、体験后感想書く	

<p>展開4 ディスカ ッション</p>	<p>20分</p>	<p>本日の体験を踏まえて、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 新たな気付きはありましたか？</li> <li>② あなたが今日から出来ることは なんですか？</li> <li>③ 認知症に対する今のイメージを 書き出してください (体験前と変化があったか確認)</li> </ul>	<p>ディスカッション</p> <p>体験を通じてそれぞれの 問いの答えをワークシ ートに書き出す</p>	
------------------------------	------------	--	---	--

# VR認知症プロジェクト アンケート用紙

**※体験前**に記入いただく項目がございます！（表面後半と裏面 全15問）  
 事前にご記入のほど宜しくお願い致します。

記入日：                      年                      月                      日

■あなたのことについて教えてください

1. 性別    男性    女性                                      2. 年齢 満（                      ）歳
3. 職業    介護職    医療従事者    医師    歯科医師    会社員（医療介護以外）  
公務員    自営業    パート・アルバイト・フリーター  
専業主婦・主夫    無職・定年退職    学生    その他
4. お住いの都道府県、市区町村を教えてください  
 （                      ）都・道・府・県                      （                      ）市・区・町・村
5. 現在、認知症のある方が家族の中にいますか？  
いる                      いない
6. 認知症のある方と今まで接した経験はありますか？  
はい                      いいえ
7. 認知症サポーター研修や認知症の勉強会などに参加したことはありますか？  
はい                      いいえ

■下記あてはまるものに○をつけてください

	VR体験前の 考えを教えてください	VR体験後の 考えを教えてください
1. 認知症のある人が怖い	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい
2. 認知症のある人にどう接していいかわからない	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい
3. 認知症のある人が現実にはありえない様なことを話したら、根気強く訂正してあげる方がよい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい
4. 何度も同じことを繰り返し聞いてくる場合は、繰り返し聞いているという事を自覚させてあげたほうがよい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい
5. 間違いは一つ一つ直す方がよい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい
6. プライバシー保護のために、近所の人には認知症であることを知らせない方がよい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい
7. 認知症は、感動したりうれしいときに感情を表現することできなくなってしまう病気だ	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい
8. 認知症は、自分が何をしたいのか全くわからなくなってしまう病気だ	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい
9. 認知症のある人が一人での外出を望んでも外出できないように施錠するしか方法がない	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい
10. 認知症になると何も出来なくなってしまうので全てにおいて代わりにやってあげるのがよい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                      はい

※裏面につづく

■下記あてはまるものに○をつけてください

	VR体験前の 考えを教えてください	VR体験後の 考えを教えてください
11. 認知症の症状がひどい場合は、薬を増やすしかない	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                    いいえ  ----- -----	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                    いいえ  ----- -----
12. 認知症のある人が暮らす環境や周囲との人間関係を改善すると認知症の症状が改善することがある	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                    いいえ  ----- -----	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                    いいえ  ----- -----
13. 認知症になってしまうと周りに迷惑がかかるので買い物には行かないように説得するしかない	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                    いいえ  ----- -----	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                    いいえ  ----- -----
14. 家族が認知症になったら仕事を辞めて介護に専念するしかない	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                    いいえ  ----- -----	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                    いいえ  ----- -----
15. 認知症のある方が困っていたら、積極的に声をかけたり助けようと思う	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                    いいえ  ----- -----	はい    どちらかという    どちらかという    いいえ はい                    いいえ  ----- -----

■本日の満足度を教えてください。

1. 大変満足      2. 満足      3. やや不満足      4. 大変不満足

■VRの視聴によって、認知症の方への理解が進んだと感じますか？

1. 感じる      2. どちらかというと感じる      3. どちらかと感じない      4. 感じない

■VRの視聴によって認知症のある方の介護の際に感じる心理的負担が和らぐ（和らぐだろう）と感じますか？

1. 感じる      2. どちらかというと感じる      3. どちらかと感じない      4. 感じない

■VR認知症体験プログラムを他の方にも進めたいと思いますか？

1. はい      2. いいえ

■本日の感想をお聞かせください

良かった点
要望・今後の改善点

以上ですご協力ありがとうございました



# VR認知症プロジェクト

～認知症の一人称体験～



「認知症」「認知症の人」に対して、  
どのようなイメージをお持ちしていますか？

体験前	体験後

体験を通じて

どんな気持ちになりましたか？

1話目:「私をどうするのですか？」

2話目:「ここはどこですか？」

3話目:「レビニー小体病 幻視編」

どうしてもらえたらうれしいですか？

1話目:「私をどうするのですか？」

2話目:「ここはどこですか？」

3話目:「レビニー小体病 幻視編」

全ての体験終了後に記入ください

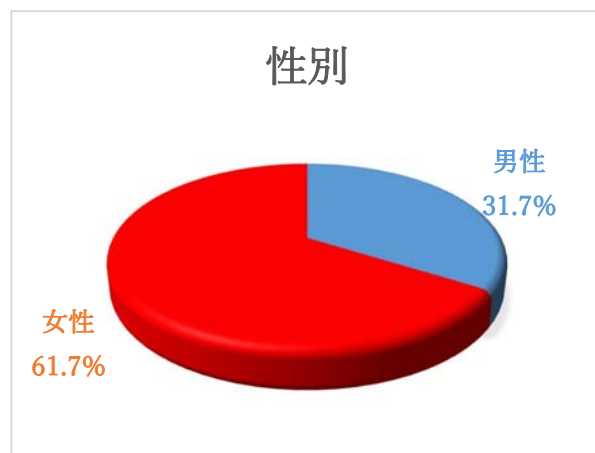
新たに気づかれたことはありましたか？  
あなたが今日から出来ることはありますか？

## アンケート集計結果

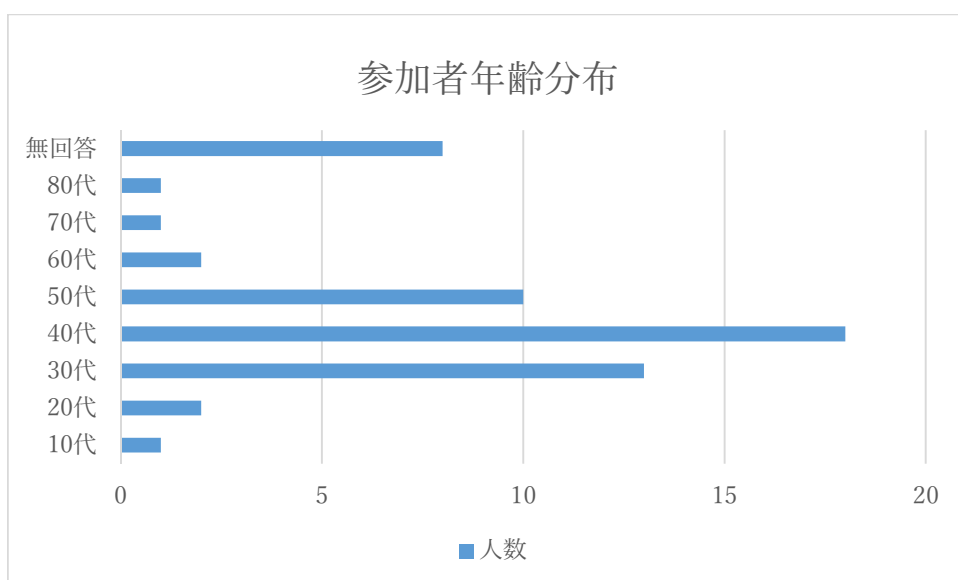
提出 56名  
未提出 4名  
提出率 93.3%

1. 性別  
男性 19名 31.7%  
女性 37名 61.7%

2. 年齢  
平均年齢  
男性 38.9歳  
女性 48.0歳  
無回答 8名



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
人数	1	2	13	18	10	2	1	1	8
比率	1.8%	3.6%	23.2%	32.1%	17.9%	3.6%	1.8%	1.8%	14.3%



3. 職業

職業	人数	比率
介護職	35	62.5%
医療従事者	5	8.9%
会社員（医療介護意外）	2	3.6%
専業主婦	1	1.8%
学生	6	10.7%
その他	5	8.9%

5. 現在、認知症のある方が家族の中にいますか？

いる	11名	19.6%
いない	45名	80.4%

6. 認知症のある方と今まで接した経験はありますか？

はい	53名	94.6%
いいえ	3名	5.4%

7. 認知症サポーター研修や認知症の勉強会などに参加したことはありますか？

はい	44名	78.6%
いいえ	11名	19.6%
無回答	1名	1.8%

1. 認知症のある人が怖い

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ	はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ
0	6	20	30	1	2	9	42
0.0%	10.7%	35.7%	53.6%	1.8%	3.6%	16.1%	75.0%
			増減幅	1.8%	-7.1%	-19.6%	21.4%

2. 認知症のある人にどう接していいかわからない

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ	はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ
1	17	28	8	1	3	30	19
1.8%	30.4%	50.0%	14.3%	1.8%	5.4%	53.6%	33.9%
			増減幅	0.0%	-25.0%	3.6%	19.6%

3. 認知症のある人が現実にはあり得ないようなことを話したら、根気強く訂正してあげ  
る方がよい。

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ	はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ
2	2	15	37	0	2	5	47
3.6%	3.6%	26.8%	66.1%	0.0%	3.6%	8.9%	83.9%
			増減幅	-3.6%	0.0%	-17.9%	17.9%

4. 何度も同じことを来る返し聞いてくる場合は、繰り返し聞いているということ  
を自覚させた方がよい。

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ	はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ
1	1	19	35	2	0	8	44
1.8%	1.8%	33.9%	62.5%	3.6%	0.0%	14.3%	78.6%
			増減幅	1.8%	-1.8%	-19.6%	16.1%

5. 間違いは一つ一つ正す方がよい

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ	はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ
0	1	22	33	0	1	7	46
0.0%	1.8%	39.3%	58.9%	0.0%	1.8%	12.5%	82.1%
			増減幅	0.0%	0.0%	-26.8%	23.2%

6. プライバシー保護のために、近所の人には認知症であることを知らせない方がよい。

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ	はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ
1	5	19	31	3	3	6	42
1.8%	8.9%	33.9%	55.4%	5.4%	5.4%	10.7%	75.0%
			増減幅	3.6%	-3.6%	-23.2%	19.6%

7. 認知症は、感動したりうれしいときに感情を表現することができなくなってしまう病気だ。

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ	はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ
2	5	16	33	2	4	3	45
3.6%	8.9%	28.6%	58.9%	3.6%	7.1%	5.4%	80.4%
			増減幅	0.0%	-1.8%	-23.2%	21.4%

8. 認知症は、自分が何をしたいのか全く分からなくなってしまう病気だ。

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ	はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ
0	8	19	29	1	4	9	40
0.0%	14.3%	33.9%	51.8%	1.8%	7.1%	16.1%	71.4%
			増減幅	1.8%	-7.1%	-17.9%	19.6%

9. 認知症のある人が一人での外出を望んでも外出できるように施設するしか方法がない

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ	はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ
0	1	15	40	0	1	4	49
0.0%	1.8%	26.8%	71.4%	0.0%	1.8%	7.1%	87.5%
			増減幅	0.0%	0.0%	-19.6%	16.1%

10. 認知症になると何もできなくなってしまうので、全てにおいて代わりにやってくれるのがよい。

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ	はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ
0	1	13	42	1	0	3	50
0.0%	1.8%	23.2%	75.0%	1.8%	0.0%	5.4%	89.3%
			増減幅	1.8%	-1.8%	-17.9%	14.3%

1 1. 認知症の症状がひどい場合は、薬を増やすしかない。

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ	はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ
0	3	20	32	0	2	9	41
0.0%	5.4%	35.7%	57.1%	0.0%	3.6%	16.1%	73.2%
			増減幅	0.0%	-1.8%	-19.6%	16.1%

1 2. 認知症のある人が暮らす環境や周囲との人間関係を改善すると認知症の症状が改善することがある。

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ	はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ
24	26	1	3	38	8	1	4
42.9%	46.4%	1.8%	5.4%	67.9%	14.3%	1.8%	7.1%
			増減幅	25.0%	-32.1%	0.0%	1.8%

1 3. 認知症になってしまうと周りに迷惑がかかるので、買い物には行かないように説得するしかない。

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ	はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ
0	3	20	32	1	0	7	42
0.0%	5.4%	35.7%	57.1%	1.8%	0.0%	12.5%	75.0%
			増減幅	1.8%	-5.4%	-23.2%	17.9%

1 4. 家族が認知症になったら仕事を辞めて介護に専念するしかない。

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ	はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ
0	2	15	37	0	1	9	41
0.0%	3.6%	26.8%	66.1%	0.0%	1.8%	16.1%	73.2%
			増減幅	0.0%	-1.8%	-10.7%	7.1%

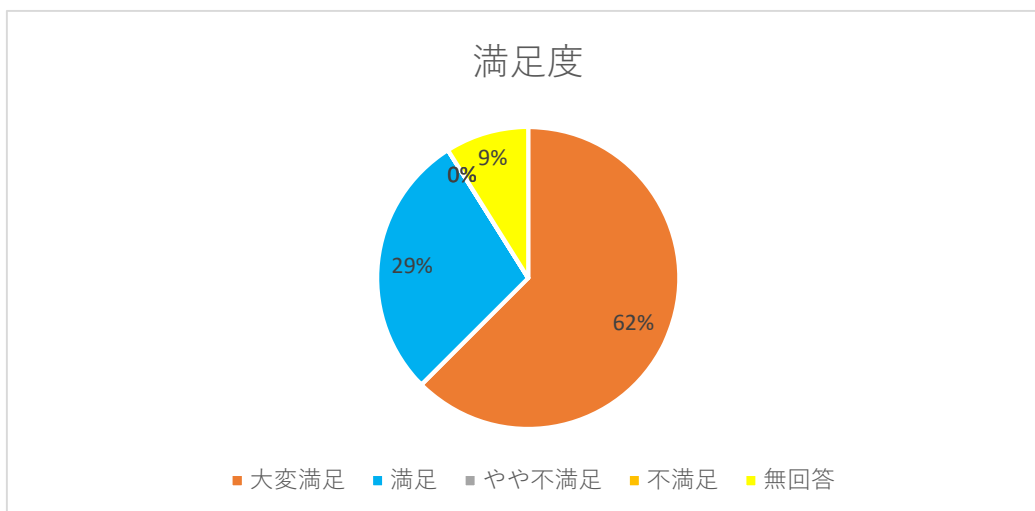
1 5. 認知症のある方が困っていたら、積極的に声をかけたり助けようと思う。

VR体験前の考え				VR体験後の考え			
はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ	はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ
21	31	2	0	40	10	0	1
37.5%	55.4%	3.6%	0.0%	71.4%	17.9%	0.0%	1.8%
			増減幅	33.9%	-37.5%	-3.6%	1.8%



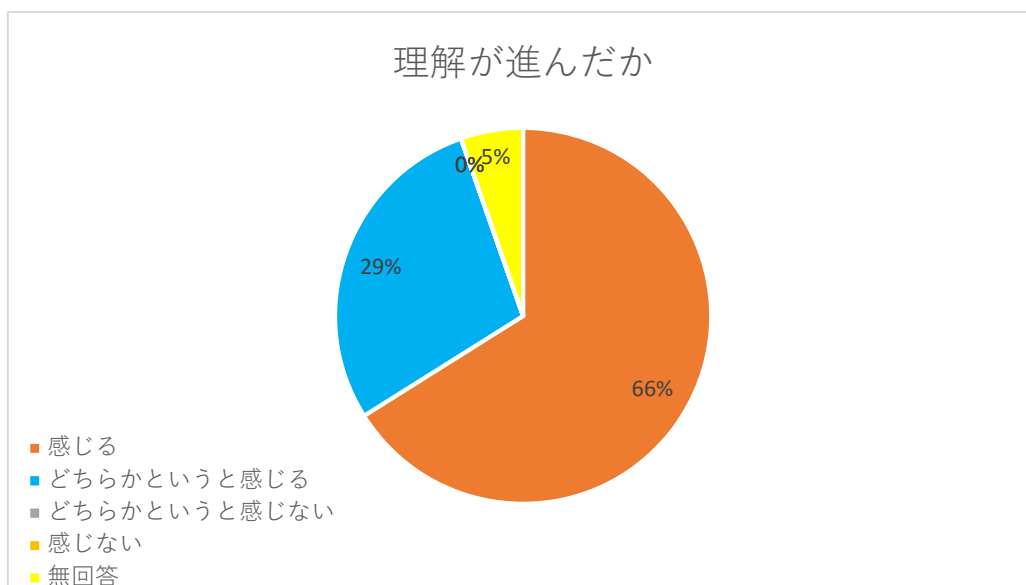
■本日の満足度を教えてください。

大変満足	満足	やや不満足	不満足	無回答
35	16	0	0	5
62.5%	28.6%	0.0%	0.0%	8.9%



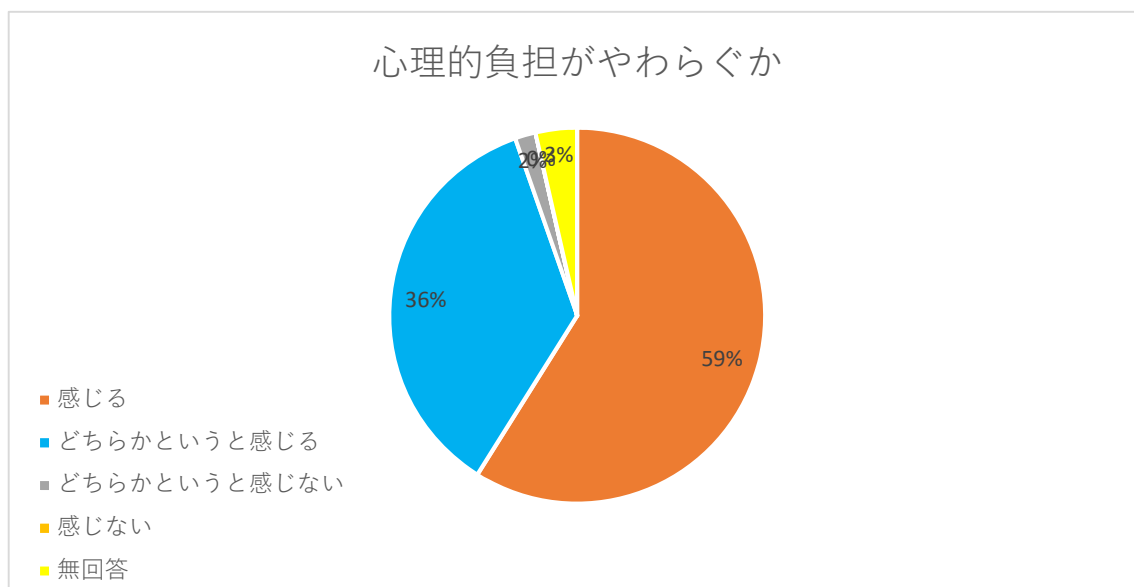
■VRの視聴によって、認知症の方への理解が進んだと感じますか？

感じる	どちらかというと感じる	どちらかというと感じない	感じない	無回答
37	16	0	0	3
66.1%	28.6%	0.0%	0.0%	5.4%



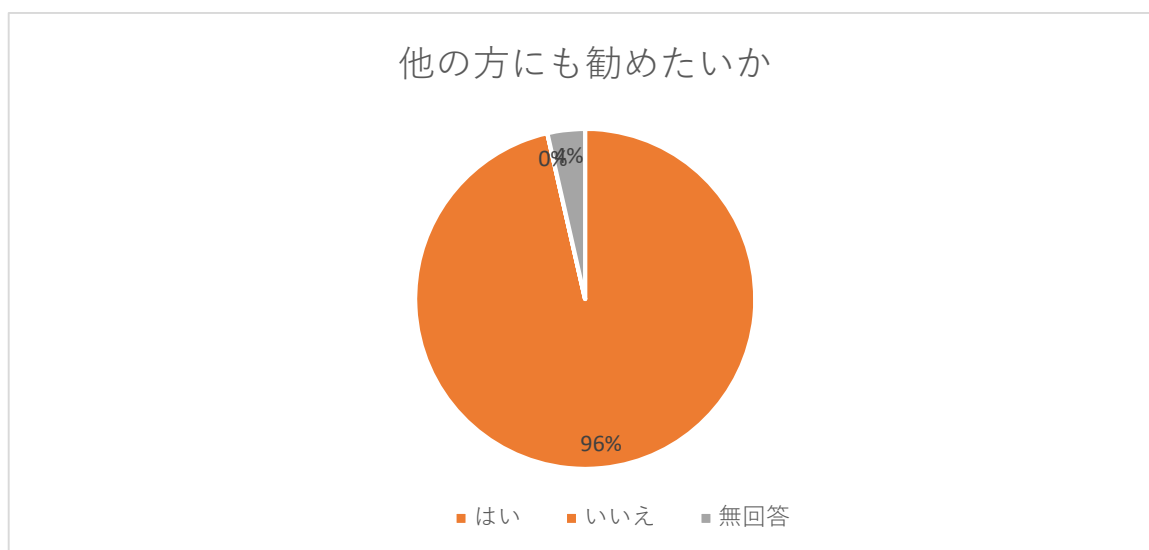
■VRの視聴によって認知症のある方の介護の際に感じる心理的負担が和らぐ（和らぐだろう）と感じますか？

感じる	どちらかというと感じる	どちらかというと感じない	感じない	無回答
33	20	1	0	2
58.9%	35.7%	1.8%	0.0%	3.6%



■VR認知症体験プログラムをほかの方にも勧めたいと思いますか？

はい	いいえ	無回答
54	0	2
96.4%	0.0%	3.6%



本日の感想をお聞かせください

良かった点

今まで自分の視点でしか考えていなかったのだと分かった。この研修で見た映像や体験したことをもとに認知症の方と接していきたい。

新しい体験ができた

改めて認知症を学ぶことができました。ありがとうございました。

認知症の方の視点から考えることができた。どう接していいのか構えていた面もあったが、少し気負いがなくなった気がします。「大丈夫ですよ」と安易に使っていた気がする。幻視についてはそのまま受け入れて。認知症になっても人生を楽しもう！

当事者の声を聞くことができたことで、どう対応したらいいのかの知識が増えた。

教科書、マニュアル通りではなく、当事者が監修の映像をもとに、疑似体験できて良かった。“相手の立場に立つ”ということが一番理解しやすい方法だと感じた。司会の進行も軽いタッチで楽しく学べました。

日ごろ送迎時に行っていることが認知症の方には恐怖だったことを実感できました。今後のケアにつなげたいです。

見体的ケアの参考になった。

何よりも体験できたことです。「幻視」はとても大変なことだと思いました。

認知症の方が実際に体験されたことを、VRを通して知ることができよかった。今まで認知症の方への対応に自信がなかった。意見交換することで対応が間違っていないと自信が持てた。

最新の技術でより認知症が解明され、より多くの人に共有できるチャンスだと思うので、より普及してもらいたい。

VRを体験してみて、価値観がガラッと変わった。実施にレビーの方や若年性認知症の方の体験談がとても参考になりました。

想像していた内容よりも、とてもリアリティがあり、一瞬で認知症の方と同じ目線で体験することができた。日ごろ自分がよく利用者に「大丈夫ですよ」と声かけをしていることに気づかされ、駄目な声かけをしていることに気づかされ、概念が変わった。非常に貴重な経験をさせていただいて、満足度 100%でした。

認知症の方の気持ちになり、体験できたことはよかった。

VR で体験できたこと・認知症本人の声が聴けた。

認知症の方の気持ちを理解することができました。今後患者さんの気持ちに寄り添える看護ができると思います。

本人体験ができて良かった。何が怖いのか？本人でないとわからない。本人の気持ちをじっくり聞いていこうと思えた。幻視体験は緊張。知識だけではわからない世界が体験できてよかった。

バーチャルに体験することは体感を持つ経験できる。

認知症の方の見える世界を知ることができた。今後現場で関わる際、声かけなども意識しようと思えた。

認知症とは全く何もできなくなるのではなく、私たちがさせていないだけだと気づいた。これからはできることを一緒にしていければいいと思う。認知症の方の不安等少しわかった気がする。

仕事柄知識では「認知症とはこうだよ」「認知症はこういう症状があってこういう対応をするといいよ」という話を聞いて知っているが、今回の VR 体験を通して特にレビー体験ではどうしてあげたらいいかという点で答えに正直詰まったし、考えさせられた。経験者の話で改めて理解できて良い経験でした。

今は自分でできることは？を知ったような気がします。

認知症についての知識が深めました。色々考えさせました。

自分で気持ちを感じ、体験しながらほんの少しでも寄り添えることができた。この人の求めていることに何が意味があることを気づき、同じ人間として向き合うようにしていくことに心がけていきたい。

レビー小体、当事者の話、アルツハイマー当事者の話がありよかった。

幻視の状況

頭で理解していることと、現実（VR体験）とのギャップがあり、現実を知るいいきっかけとなった。リアルなことがよりリアルに感じることができた。

認知症になったことのない職員が、認知症を知っているかのように、認知症本人に対応していることに以前から違和感があった。VRで体感した視覚は、ごく一部だと思うが、少しでもそういった気分を味わえたことが本人の気持ちに少しでも理解できるのかと勉強になった。

初めてのVR楽しかったです。

介護職だけでなく、一般の方にもわかりやすく良かった。

VR体験を通して認知症のある人の視点に立つことができ、これまで良いと思って行っていた対応が必ずしもいいとは限らないことを知ることができた。

実際認知症になったかのように感じを体験でき、今まで知識としては知っていたが、こんなにこわいもの、不安なものかと実感でき、今後介護をするうえで考えさせられた。

知識だけではなく、体験があるかどうかで大きく違うことが分かった。これからのケアにつなげたい。

当事者の話がとてもよかった。大丈夫という言葉がよい言葉でないことが分かった。

とても分かりやすかった。VRは実体験に近く、認知症を学ぶ良い機会となったと思う。

体験し、話し合い（グループワーク）できるので、いろんな意見が聞けて良かった。

資格で認知症ケアであっても、実際の現場でできていたことや、今後のケアへのプラスにできて良かったです。

視空間失認の体験をして1歩踏み出す勇気と恐怖感を感じました。認知症の方の気持ちが、この体験を通じて、理解できました。

認知症の方が、どのように見え、どのように感じているのかがよく理解できました。今後の接し方を考えさせられました。ありがとうございました。

ひとつひとつの説明が丁寧でわかりやすかったです。認知症の人の気持ちがわかり、今まで思っていたものの違いを感じれました。

レビー小体の方は幻視があると知識として理解していましたが、VRで確認することで衝撃的でした。笑顔、共感が大事です。

利用者の言っていることが幻視だとわかっているけど、うまく対応できずにいましたが、VRで体験することでその方がどのように見えているのか少し理解することができました。

実感できました。

認知症の方の見えている世界が、どのようなものか理解できました。日々の言葉がけを工夫し、認知症の方が安心できる環境を作っていきたいと思います。

VRによって視覚、聴覚を体験できる点がよかった。認知症の方の立場になって、行動や声掛けをすることが大事だと実感した。

VRを使って実際に体験するのがすごかった。怖い感覚や不安が多いことが分かりました。声のかけ方や声をかける場所「大丈夫」という言葉も本人に取ったら大丈夫ではないので、声のかけ方も工夫する必要があると思いました。

認知症の勉強はしていたが、自分が実際に本人になってみて、こんな風に接してほしいな。声かけをしてほしいなと感じることができた。とても分かりやすく、いろんな人の体験を進めてほしいと思った。

## 要望・今後の改善点

もう少し費用を抑えてたくさんの方に見てもらえるようにしてほしい。

脳が喜ぶ！心が笑う！をモットーに今後もボランティアを続けたいと思いました。

今後現場の具体的な改善に役立てていけるように、より細かい状況設定したVRをシリーズ化して広く現場に展開していただけたらと思います。

演台の横のテーブルであったため、スライドが見えづらかった。

とてもよかったです。貴重な経験ができました。ありがとうございました。

できればほかのバージョンも今後見てみたいと思いました。社会全体で認知症が支えられる世の中になればいいと思いました。

この研修を広めてほしい。

もう少し時間を多くとり、もっと体験したかった。他の認知症体験もしたい。

勉強になりました。ありがとうございました。

もう少し長いストーリーだともう少し理解できるような気がする。

できることが少しでも本人の言葉に寄り添えたらいいかなと思いました。

たくさんの人々に見せて勉強や体験になったらいいなと思いました。

VRの体験モニターをぜひ活用できるコーナーを作ってほしい。施設内のコーナーに職員もデイ、入居の家族の人も地域の人みんなが言葉だけではなく、映像で体験できたらいいと思う。

是非広めてほしい

自身の考え方、対応を見直す機会となりました。貴重な体験をありがとうございました。もっと広げてください。

回数を増やしてほしい！

もっと広げてほしい！大変わかりやすかった。当事者が制作に参加しているのが何より説得力があった。

今後の勤務に認知症の方対応、関わりに繋げていきたい。

もっと広めれたらと感じます。

これからの業務の中で認知症のある方の対応の視点を変え、関わっていきたい。

他の認知症の体験もしてみたい。高齢者の感覚（歩き方、体の歪み、体の可動域など）

もっと長い時間、VR 体験ができればよいと思った。

会社での研修体験を全体にできることを増やすために投げかけていきたい。認知症は、他の方とは違うケアが必要ではなく、同じようなケアで偏見なくすること。ケアの変化で相手は変わる。→（困っていること）

VR 認知症体験プログラムをもっとやってほしい。

VR 体験を職員全員にさせればよいと思います。

もっともっとたくさんの方のこの VR 体験をして認知症について感じてもらえたらいいと思います。

多くの事例があればいいと思います。

他の映像も見たかった。もっと時間があれば良かったです。

VR を体験している時間を一日体感できるようになれば、1日の行動も把握することができると思いました。

もっといろんな体験ができるようになってほしい。なかなか全方向をみることができなかつたので、もう一度体験したかった。





## VRで認知症理解

### 介護施設職員ら60人体験

**【富山】** 仮想現実（VR）で認知症を体験するイベントの会」が同社に依頼。VR映像

が14日、富山市水橋新堀の特別養護老人ホーム「しらいわ苑」で開かれた。県内の介護・福祉施設の職員や福祉を学ぶ学生ら約60人が、患者との関わり方を考えた。

グループホームなどを運営するシルバード（千葉）が2017年から全国各地で開いており、延べ3万5千人が参加している。認知症への偏見をなくし、当事者意識を持ってもらおうと、VR映像で認知症患者の実体験を体感する参加者

と、社会福祉法人「とやま虹の会」が開発に携わる堀江加代子さんが講師を務めた。参加者は送迎バスから降りるのを怖がるなど、当事者の体験を基に制作された三つのVR映像を視聴。電車の中で自分の目的地が分からなくなる不安や、レバー小体型認知症の特徴である幻視を体感し、どのように接するのが良いかなど意見を交わし合った。牧野正孝さん（46）は「困っている状況で手を差し伸べてくれることのうれしさを痛感した」と話した。

2019年4月16日（火）  
北日本新聞朝刊  
25面 地域ニュース